

令和元年度第1回北杜市魅力発信検討委員会議事録

- 1 開催日時 令和元年5月29日(水)午前10時30分～11時50分
- 2 開催場所 北杜市役所西館2階会議室
- 3 出席委員 山田輝夫、馬場君忠、三井一男、小澤一、三井麻里子、小林昭治、
小川節子、林義夫、浅川幸彦
- 4 欠席委員 五十嵐咲子
- 5 事務局 渡辺英子市長、小澤章夫政策秘書部長、水石正幸政策秘書課長
広聴広報担当 坂口美穂、浅川蓮、幡野祐也
- 6 会議録署名 山田輝夫、馬場君忠
- 7 公開・非公開の別 公開
- 8 傍聴人 なし
- 9 内容
 - (1) 開会
 - (2) 委嘱状交付
 - (3) 市長あいさつ
 - (4) 会長・副会長の選任
会長に小林昭治委員、副会長に小川節子委員が選任された。
 - (5) 会長あいさつ

(6) 議事

議事1「北杜市魅力発信検討委員会の役割について」事務局から説明。

議長 それぞれの立場からのご意見や魅力発信委員会に対する思いなどを伺いたい。

委員 昨年までのケーブルテレビ審議会の続きで委員をやらせてもらっている。農業委員会の立場からは農業の担い手の問題などを取り上げてもらいたい。

委員 地域委員会については、各町で温度差があると思う。地域委員会の活動が浸透していない部分もある。それぞれの町で特徴あるイベントや活動をしている。これを市全体で共有するには、情報発信が必要だと思う。

委員 交通事故においても、事故が起きてからではなくて、抑止の部分であらかじめ皆さんに交通安全を周知できたらいいと思う。日常当たり前だと思っていることを大切に、ルールやマナーを守る場が広がればいいと思う。

委員 教育は分野が広いので、体育協会や文化協会と連携し取り組んでいきたい。

委員 昨年までのケーブルテレビの審議だけでもかなり時間をかけて深掘りして審議していたので、対象が広がり掘り下げきれぬのかという不安やせつかく作って中途半端になっていかないかという思いがある。ひとつひとつ深く掘り下げていったらきりがないので、全体をまとめてどういう風にしていくか、目標をしっかりとってやっていけたらいいと思う。

委員 ケーブルテレビについては、北杜の2万世帯でどれくらい見ている世帯があるのか。自分の住んでいる地域では入っていない人もいる。どのくらいの割合で加入

しているのか教えてほしい。

事務局 加入世帯の割合は約8割となっている。

委員 北杜の魅力は風光明媚なところ。自然や食や水について情報発信をしていると思う。子育てについては、子育て支援センターや住宅を作る補助などがあり情報発信していると思うが、悪いところも伝えていかなければいけない。例えば、移住してきた若い世代には気にならないが、高齢者になった時には、車がないと生活しにくいこと。交通弱者については、デマンドバスなどを今検討しているところであるが、そのような情報発信もして、魅力あるまちづくりに生かしていかなければいけない。また、北杜市は羽村市の体育協会と、スポーツ交流事業を行っている。北杜市は体育施設については充実している。羽村市は、人は多いがスポーツ施設が少ないので、交流により補っている。北杜市のスポーツ施設についても、魅力を発信していければと考えている。

委員 北杜市は非常に交通事故が多い。山梨県下では、交通事故は昨年比べて減っているにもかかわらず、北杜市だけは多くなっている。交通安全基本法は自治体の長が責任を負うということになっているので、交通安全についても一生懸命取り組んでもらっているとは思いますが、難しいと思うのは、交通安全週間ですということでは言うが、なかなか成果が出ないところ。しかし、ケーブルテレビは見ないが、広報は見るという人もいると思うので、いろいろな媒体を使って意識をしてもらおうように取り組んでいくのはいいと思う。

委員 この委員会で情報発信をどこに集約していくのかを考える必要がある。ワークショップの開催やメールなどで意見を聞き取るしくみを作ってもらうことが大切だと思う。どのように情報発信していくか、市がこのようなことをしていきたいというのを示してもらい、それに対して委員としてはこう考えるというような意見を言う仕組みが大切だと思う。

委員 形だけで終わるのではなく、意見を吸い上げて欲しい。広報についても、例えば昨年の同月号と今年の企画案を比べて意見をもらう。ホームページであれば、ウェブのハードコピーを取り、見てもらって意見をもらう。どういうものについて取り組みたいか、どういうものについて審議してもらいたいのか、具体的な例について提示してほしい。

事務局 情報発信について、委員の方にどのような部分をご審議いただきたいのか提示していきたいと思う。またご相談をしなければならぬ場面が出てきた場合には、事前に情報共有させていただき、ご意見を伺いたい。年でお示めししている事業計画についてご審議いただく予定としている。

議事2 「情報発信に係る取り組みについて」事務局から説明。

議長 ケーブルテレビ、広報、ホームページと3つの情報発信ツールが同じ方向で発信していくのだと思うが、目指しているところがお宝いっぱい健幸北杜なのか、移住定住なのか、あるいは今回はこのようなテーマでやっていくということをお示

しいいただき、これをこんな風にやっていきたいということをお示しいただければ、地域委員会としてはこんな考えだ、農業委員会としてはこんな考えだというのを述べさせていただくことになると思う。各委員からの質問やご意見はあるか。

委員 事業計画については、今年度の4月からということによいか。

事務局 4月からの事業計画である。

委員 例えば事業計画について、「飛び出せ！市長と未来を語る集い」については、4月は子育てとか、6月は子供とスポーツがテーマになっているが、これについて審議をしていくのか、それとも別のテーマについて審議をしていくのか。

委員 例えば、この「子育て」というテーマについては、広報も、ケーブルテレビも、ホームページでも同じようにやっていくのか。

事務局 お宝いっぱい健幸北杜の内容を市民の皆さんにPRするためにも、「飛び出せ！市長と未来を語る集い」を数回開催し、対談した内容を広報、ケーブルテレビ、ホームページで発信していきたいと考えている。皆さんにお願いしたいこととして、この「飛び出せ！未来を語る集い」について、どんなテーマについて集いを行っていったらいいのかというアイデアをいただけたらと考えている。また、事業計画内でお示ししているとおり、9月にはSNSによる情報発信を考えている。北杜市にはホームページがあるが、これとは別にそれぞれの担当で、例えば、移住定住担当ではフェイスブックを使って移住定住についての情報発信をしてい

る。防災担当では、ツイッターを使って緊急情報などを流している。子育て担当では、子育てブログを開設し、子育てにかかるお母さんたちの活動などを紹介している。しかし、北杜市全体としてのツールは整備されていない状態である。それがどんなものがあるのか、どのようなルールが必要とされるのか、皆さんにご審議いただきたいと思っている。10月には、暮らしの便利帳という北杜市の情報を集めた冊子を発行する予定である。11月には、市政施行15周年の記念式典が行われるが、15年の振り返りをどのような形でまとめるか、今後どのような市になっていきたいか、シティプロモーションも見据えた北杜市の将来像についてご提言をいただきたいと考えている。

委員 情報収集は、広聴広報が中心になってやっていくと思うが、生涯学習課とか、地域課とか、企画課とか、いろいろな課があると思うが、その情報収集はどのようにやっていくのか。

事務局 今年度から、この北杜市魅力発信検討委員会を設置することに伴い、各課からひとりずつ魅力発信委員を選出し、情報提供をしてもらうようお願いしている。

委員 月に一度などやっているのか。

事務局 情報提供は、随時行っている。

委員 できればそこに魅力発信検討委員会のメンバーを入れて話をしてもらいたい。決まってから話をいただくのでは、なかなか変えられない。全体では、どれくらいの人数いるのか。

事務局 50名程度である。会として集まるというのではなく、ウェブ上でやり取りをしている。

委員 各課の魅力発信委員に、情報を寄せてもらっているということか。

事務局 その通りである。

委員 各課の魅力発信委員から出たアイデアを広聴広報担当でまとめ、それをこの魅力発信検討委員会で検討するということか。

事務局 その通りである。

委員 広報などは、発行のスケジュールが決まっているので、内容に意見を述べるというのはなかなか難しい。広報はこうあって欲しい、広報の在り方について我々が意見を述べることになると思う。「飛び出せ！市長と未来を語る集い」についても、周りの反応をお伝えしたり、どのように取り上げたら魅力が伝わるのかについて、提言したい。

委員 例えば、広報であれば3か月前に内容について提示しないと、チェックすることができない。検討、審議してもらいたいものを、はっきりと出してもらう必要がある。

委員 細部に渡って検討するとなると無理があるので、出してもらった全体的な方向がまっているかどうかを検討する委員会とするのがよいと思う。

事務局 これまで審議会としてケーブルテレビのみを対象に審議していただいていたが、今回からは魅力発信検討委員会に変わり、対象が広報ほくと、ホームページにも

広がるため、ケーブルテレビだけでなく、広報やホームページに対して皆様が感じていたこと、これをこんな風にしたらよいのではないかというご意見があったら伺いたい。次回からは、具体的な事案についてご意見を伺いたいと考えている。

委員 広報については、何ページを見れば何が出ているということがわかる目次のようなものがあるといいと思う。

委員 ホームページについては、変えるには予算が必要なので、自分たちが要望を出しても反映できないのではないか。

委員 お宝いっぱい健幸北杜をテーマとして、一体感のある情報発信をして行くにはどうしたら良いかということだと思うが、お宝いっぱいには項目がたくさんあり、テーマとするには抽象的になってしまう。また一体感のある魅力発信は、広報、ほくとニュース、ホームページの3つで情報を載せれば一体感があるのかというと、それはどこの市町村でも取り組んでいることだと思う。3つの方法をどのように具体的に使っていきたいと思っているのか、次回の委員会では具体的に示していただければ、意見も言いやすいかと思う。

事務局 いただいたご意見について、対応できるものについては、順次対応していきたい。

議長 初めての取り組みなので、情報発信の方向性については検討していきたい。また、委員会の委員の皆さんのご意見を伺っていきたい。

事務局 | 検討会に対するご意見も伺ったところなので、次回報告できるよう対応を取りたい。

(6) 閉会

以上